

年 組 名前：



鮮やか「花手水」
彼岸の花を活用

昭和・正法寺

昭和町押越の正法寺(阿部和正住職)の境内にある池に鮮やかな「花手水」が飾られ、参拝者の目を楽しませている。春の彼岸

寺では6年ほど前から手水舎に季節の花を飾っていた。寺務所員らが花を入れ替

で供えられた花を有効活用しようとして初めて企画した。花手水を飾っているのは約2畝四方の池で、菊やス

ターチス、町の木でもあるオトメツバキなど約10種類の花が水面を彩っている。話題となり、花手水を見に訪れる人もいるという。

えながら、8日の花祭りまで飾る。寺庭婦人の阿部光子さん(41)は「お寺は悩みや苦しみを抱えた人も訪れる場所。参拝者を花でお迎えし、和みや癒やしを与えられたらいい」と話す。

〈戸松優〉

(2026年4月4日付 山梨日日新聞 14面)

問1 昭和町の正法寺の池には、なにが飾られていますか。漢字と、その読み方を答えてください。

漢字: 読み方:

問2 飾られている花は、なにを活用していますか。

.....

問3 正法寺が、この取り組みを始めた理由を答えてください。

.....